

小田川ダム管理第 22 号工事

小田川ダム

テレメータ電気設備、放流警報設備更新工事

テレメータ電気設備及び放流警報設備 特記仕様書

第1章 総 則

本工事は、青森県農林水産部農村整備課制定「農村整備土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書(土)」という。）及び「施設機械工事等共通仕様書」（以下「共通仕様書(施)」という。）に準拠するほか、特記仕様書及び本テレメータ電気設備及び放流警報設備 特記仕様書により施工するものとする。

なお、共通仕様書(施)は、農林水産省農村振興局整備部設計課制定の施設機械工事等共通仕様書を施設機械工事等共通仕様書読替規定により読み替えたものである。共通仕様書(施)に対する特記及び追加事項は、本特記仕様書によるものとする。

第2章 工事概要及び機器仕様

1. 工事概要

本工事は、小田川ダムに係るテレメータ電気設備部品、放流警報設備部品の更新を行うものである。

2. 工事場所

五所川原市金木町喜良市 地内 （小田川ダム）

3. 施工範囲

本工事の施工範囲は、以下に示す対象機器の撤去、据付、調整までとする。

テレメータ電気設備部品	数量	単位
無停電電源装置 7.5kva	1	台
シャットダウンソフト 7.5kva (UPS 用)	1	台
ネットワークカード (UPS シャットダウン用)	1	台

放流警報設備部品	数量	単位
3素子八木空中線 74.19Hz	2	本
同軸ケーブル 10D-2V 両側コネクタ付き	2	本

第3章 据付

受注者は設計変更が生じ、契約変更に必要な測量・設計図書の作成を監督員から指示された場合は、それに応ずるものとする。なお、その経費については別途協議するものとする。

1. 一般事項

据付は、共通仕様書（土）及び共通仕様書（施）によるものとし、特記及び追加事項は次によるものとする。

2. 既設設備撤去

- （１）既設ダム設備の更新にあたり、既設を撤去する際は、既設ダム設備の運転停止期間を極力短期間とするよう施工すること。
- （２）既設設備の撤去に当たっては、既設構造物への影響を及ぼさないよう施工にあたるものとする。
- （３）スクラップ（有価物）は売払い、廃棄物は再資源化施設等に搬出する計画としており、数量確定後に契約変更で対応する予定としているため、機器、材質、数量等を整理し監督職員に報告すること。

3. 設備据付

- （１）据付は、あらかじめ既設構造物の位置、寸法、高さ等を計測し、据付基準線を定め所定の位置に水平、垂直の芯出しを行いアンカーボルト等により確実に取り付けるものとする。
- （２）設備の据付に重機械を使用する場合は、既設構造物に損傷を与えないように留意するものとする。

第４章 条件変更の補足説明

本工事の施工にあたり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書と異なる場合、あるいは設計図書に示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

- 1) 設計諸元等条件変更に係るもの
- 2) 関連工事との調整に係るもの
- 3) 不可抗力によるもの
- 4) 法・基準の改正に係るもの
- 5) 新たに、更新又は整備の必要が生じた場合
- 6) その他本仕様書に定めのないもの

第５章 電子納品

1. 本工事は電子納品対象工事であり、工事完成図書を「施設機械工事完成図書等作成要領」に基づいて作成し、次のとおり提出しなければならない。
 - （１）工事完成図書の電子媒体（CD-R） 正副２部
 - （２）工事完成図書の出力 ２部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

2. 成果品の提出の際には、電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）によるチェックを行い、「要領」に準拠していることを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

第6章 定めなき事項

1. 契約書、設計図面及び本仕様書に示されていない事項であっても構造、機能上又は据付上当然必要と認められる軽微な事項については受注者の負担で処理するものとする。
2. この仕様書に定めない事項又は、この工事の施工にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。